

# 2013年3月期 第2四半期 決算説明会

於：三井情報株式会社 本社

2012年11月5日

 **MKI** 三井情報株式会社

[www.mki.co.jp](http://www.mki.co.jp)

1

**2013年3月期 第2四半期決算概要**

2

**当社経営方針について**

3

**2013年3月期 経営施策の進捗と今後の方針**

# 2013年3月期 第2四半期決算概要

取締役 常務執行役員 CFO  
佐野 秋生

## 厳しい経営環境の中、 業績は予想値を上回るも前期比では減少

### 【売上】

大口顧客向けのシステム構築案件の減少などにより前期実績を下回った

### 【利益】

売上減少に加えて、事業拡大に向けた費用支出が増加したことなどにより、前期実績を下回った

# 連結決算概況（前期比）



新たな成長を、あなたとともに。

（単位：百万円）





連 結	2012年3月期 2Q累計業績	2013年3月期 2Q累計業績	前期比	
			増減額	増減比
受注高	26,491	20,546	△5,944	△22.4%
売上高	22,590	22,365	△225	△1.0%
売上総利益	6,248	6,138	△109	△1.7%
利益率	27.7%	27.4%	△0.3p	－
販売費・一般管理費	5,490	5,593	+103	+1.9%
営業利益	757	545	△212	△28.0%
利益率	3.4%	2.4%	△1.0p	－
経常利益	828	620	△207	△25.1%
利益率	3.7%	2.8%	△0.9p	－
四半期純利益	451	352	△98	△21.8%
利益率	2.0%	1.6%	△0.4p	－
受注残高	22,865	19,752	△3,113	△13.6%

# 連結決算概況（業績予想比）

（単位：百万円）

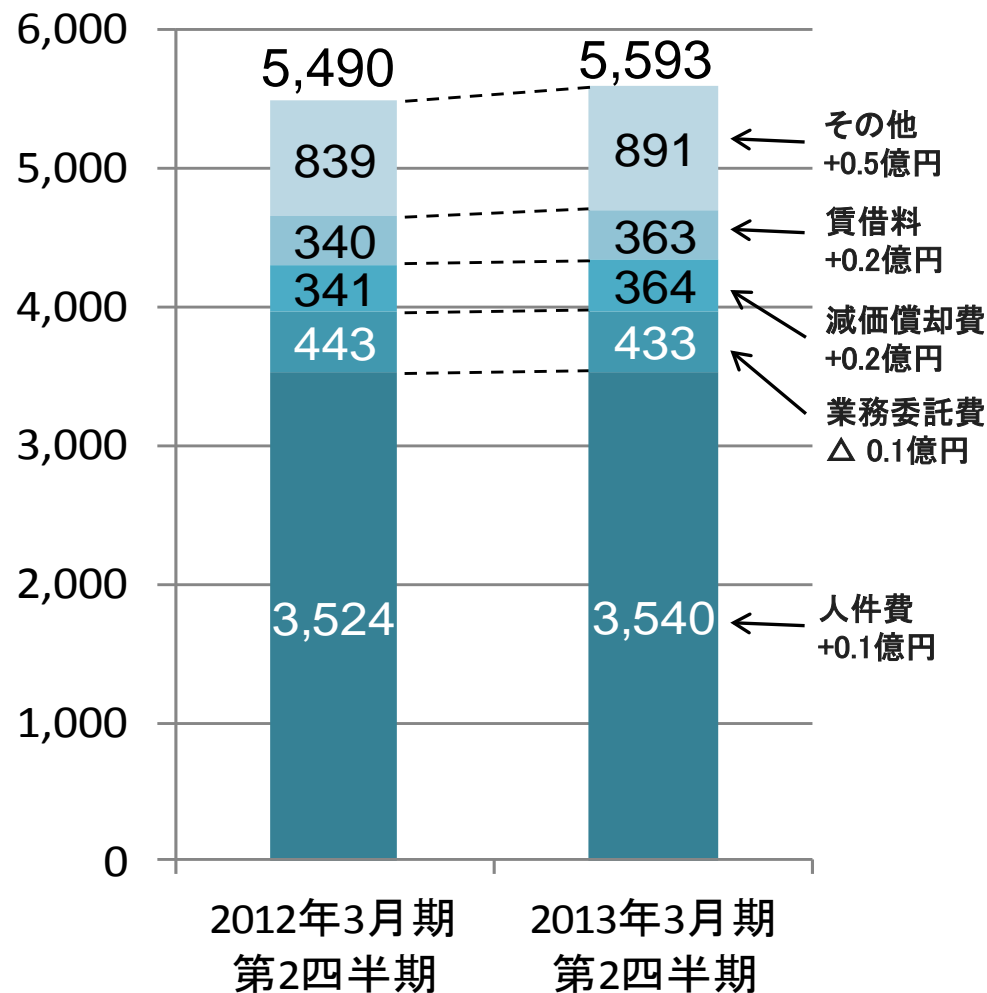
連結	2013年3月期 2Q累計実績	2012/10/19 発表 業績予想	業績予想比		2012/05/07 発表 業績予想	業績予想比	
			増減額	増減比		増減額	増減比
受注高	20,546	-	-	-	-	-	-
売上高	22,365	22,360	+5	+0.0%	23,000	△634	△2.8%
売上総利益	6,138	-	-	-	-	-	-
利益率	27.4%	-	-	-	-	-	-
営業利益	545	540	+5	+1.0%	200	+345	+172.8%
利益率	2.4%	2.4%	+0.0p	-	0.9%	+1.6p	-
経常利益	620	620	+0	+0.1%	200	+420	+210.4%
利益率	2.8%	2.8%	+0.0p	-	0.9%	+1.9p	-
四半期純利益	352	350	+2	+0.8%	100	+252	+252.6%
利益率	1.6%	1.6%	+0.0p	-	0.4%	+1.1p	-
受注残高	19,752	-	-	-	-	-	-

# 連結 主要PL項目推移（前期比）

	<b>売上総利益</b>	<b>6,138百万円</b>	（前期比 -109百万円／-1.7%）
	↓	売上高減少による減少	△62百万円
	↓	売上総利益率の低下による減少	△47百万円
	<b>営業利益</b>	<b>545百万円</b>	（前期比 -212百万円／-28.0%）
	↓	売上総利益の減少	△109百万円
	↓	販管費の増加	△103百万円
	<b>経常利益</b>	<b>620百万円</b>	（前期比 -207百万円／-25.1%）
	↓	営業利益の減少	△212百万円
	↓	営業外収益の減少	△3百万円
	↑	営業外費用の減少	+7百万円
	<b>四半期純利益</b>	<b>352百万円</b>	（前期比 -98百万円／-21.8%）
	↓	経常利益の減少	△207百万円
	↑	特別損失の減少	+4百万円
	↑	税金費用の減少	+105百万円

# 連結 販売費・一般管理費 推移(前期比)

(単位:百万円)



## <増加要因>

- 営業支援費用の増加
- グローバル展開の拡大
- ATC設備投資

## <減少要因>

- コスト削減(業務委託費等)

## <ご参考>

2011年9月末	連結人員数	1,948人
2012年9月末	連結人員数	1,899人
		(-49人)



# セグメント別 連結業績



新たな成長を、あなたとともに。

(単位:百万円)

		2012年 3月期 2Q累計	2013年 3月期 2Q累計	増減	コメント
BS事業	売上高	9,046	8,432	△614	三井物産向けの売上減少を、新規案件の獲得によってカバー出来ず売上は前期実績を下回った。外注費の削減やオフショア開発を推進したものの、売上減少の影響により利益も前期を下回った。
	営業利益	616	332	△283	
PS事業	売上高	11,620	11,930	+309	コンタクトセンター構築案件が好調に推移したことなどにより売上は前期実績を上回った。利益も、売上増加に伴い前期を上回った。
	営業利益	216	361	+145	
SV事業	売上高	1,923	2,002	+79	データセンターサービスの伸長を主因に売上は前期を上回った。利益も、売上増加に加えて利益率の向上により前期を上回った。
	営業利益	△301	△231	+70	
合計	売上高	22,590	22,365	△225	
	営業利益調整額	227	82	△144	
	営業利益	757	545	△212	

# 連結 受注高・期末受注残高推移（セグメント別）

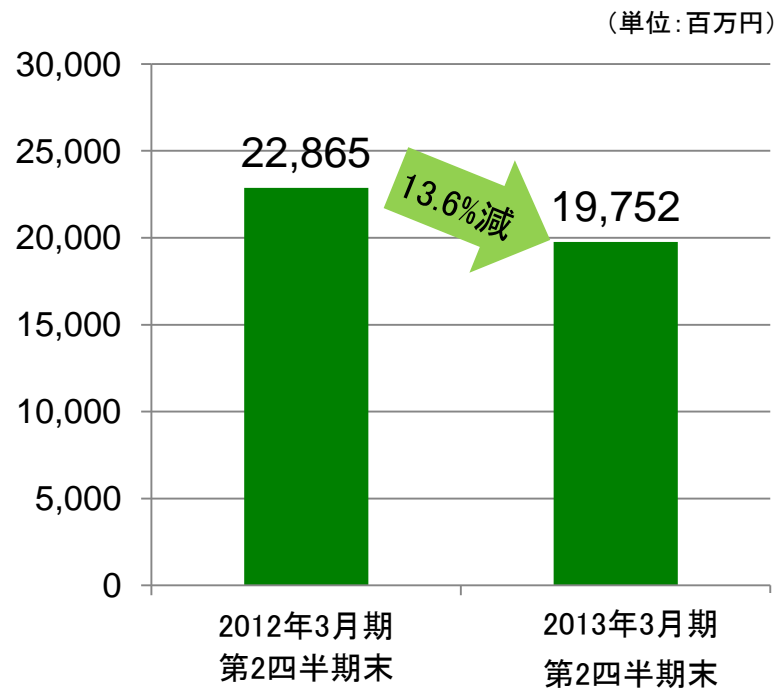
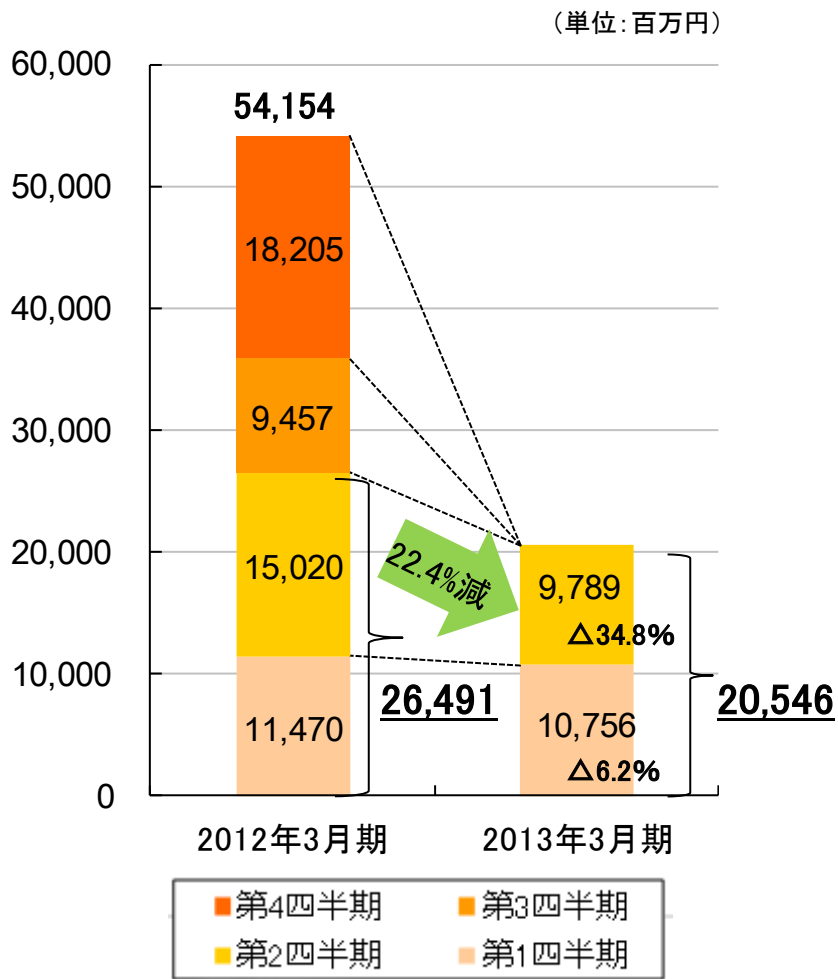
（単位：百万円）

		2012年 3月期 2Q累計	2013年 3月期 2Q累計	増減	前期比	コメント
BS事業	受注高	11,411	6,279	△5,131	△45.0%	三井物産向け案件の受注が大幅に減少した事から、受注・受注残高とも前期実績を下回った。
	受注残高	10,179	5,972	△4,207	△41.3%	
PS事業	受注高	12,795	12,100	△695	△5.4%	ボイスネットワーク等が好調に推移したが、通信キャリア向けのネットワーク構築案件が伸び悩み、受注高は前期実績を下回った。
	受注残高	10,575	11,608	1,033	+9.8%	
SV事業	受注高	2,283	2,166	△117	△5.1%	仮想化基盤案件の減少などにより、受注は前期を下回った（受注残高は増加）。
	受注残高	2,110	2,171	60	+2.9%	
合計	受注高	26,491	20,546	△5,944	△22.4%	
	受注残高	22,865	19,752	△3,113	△13.6%	

# 連結 受注高・期末受注残高推移（前期比）

## 四半期受注高推移

## 2Q末受注残高推移



# 【ご参考】連結貸借対照表の状況



新たな成長を、あなたとともに。

(単位:百万円)

	2012年3月期末	2013年3月期 2Q末		主な増減要因
			前期末比(増減額)	
流動資産	33,560	31,619	△1,941	現金及び預金△1,241、受取手形・売掛金△3,151、預け金+1,700
固定資産	8,103	7,922	△181	有形△204、無形△3、投資その他の資産+27
資産合計	41,664	39,541	△2,123	
流動負債	9,978	7,859	△2,118	支払手形及び買掛金△1,080、未払法人税等△847、前受金+680
固定負債	267	267	△0	
負債合計	10,245	8,126	△2,119	
純資産合計	31,418	31,414	△4	
自己資本比率	75.4%	79.4%	+4.0p	

# 【ご参考】連結キャッシュ・フローの推移

(単位:百万円)

	2012年3月期 2Q累計	2013年3月期	2Q累計
			前期比(増減額)
営業キャッシュ・フロー	863	194	△668
投資キャッシュ・フロー	△1,758	△2,872	△1,114
財務キャッシュ・フロー	△355	△355	0
キャッシュ・フロー計 (換算差額含む)	△1,257	△3,041	△1,784
現金及び現金同等物 の期末残高	7,500	5,031	△2,468

# 【ご参考】販売先業種別 連結売上高推移

(単位:百万円)

業種	2012年3月期 第2四半期実績		2013年3月期 第2四半期実績		前期比 (増減額)
		構成比		構成比	
商業	6,475	28.7%	6,462	28.9%	△12
サービス・情報システム	5,930	26.3%	5,823	26.0%	△107
金融・保険	3,163	14.0%	3,216	14.4%	+52
通信・放送	3,664	16.2%	3,391	15.2%	△273
製造	1,652	7.3%	1,343	6.0%	△308
建設・不動産	1,199	5.3%	1,605	7.2%	+406
その他	504	2.2%	522	2.3%	+18
総計	22,590	100.0%	22,365	100.0%	△225

## ■通信・放送

通信キャリア向けの売上減少等による

## ■製造

情報機器の製造メーカー向けの売上減少等による

## ■建設・不動産

大口顧客向けのデータセンター関連サービス、およびネットワーク構築業者向けの売上伸長等による

(注)各企業の業種分類を一部見直したため、2012年3月期の数字は昨年の説明会資料と内訳が異なっております。

# 2013年3月期 連結業績予想（通期）



新たな成長を、あなたとともに。

（単位：百万円）

	12年3月期 実績	13年3月期 予想 (2012年5月時点)	前期比 (増減額)	増減比 (増減率)
売上高	51,548	53,000	+1,452	+2.8%
BS事業	19,955	20,000	+45	+0.2%
PS事業	27,527	28,000	+473	+1.7%
SV事業	4,066	5,000	+934	+23.0%
営業利益(率)	2,505 (4.9%)	2,700 (5.1%)	+195	+7.7%
経常利益(率)	2,678 (5.2%)	2,800 (5.3%)	+122	+4.6%
当期純利益(率)	1,433 (2.8%)	1,700 (3.2%)	+267	+18.6%

配当予想： 年間500円（中間200円、期末300円、配当性向34.8%）

配当方針： 年間配当性向30%を基準としながら安定配当を維持

## 【業績の見通し】

売上高： ビジネスソリューション事業…新規案件の開拓に注力して、三井物産向け案件の減少をカバー  
プラットフォームソリューション事業…通信キャリア向け案件の減少分を、好調なボイスネットワークなどでカバー  
サービス事業…データセンター、エネルギーマネジメント関連サービスの伸長等により、堅調に推移

営業利益： コスト削減の徹底  
R&D等の事業拡大に向けた投資は継続して実施

# 上期・下期別 連結業績予想



新たな成長を、あなたとともに。

(単位: 百万円)

連結	2012年	2013年	前期比 (増減率)	2012年	2013年	前期比 (増減率)	2012年	2013年	前期比 (増減率)
	3月期 上期実績	3月期 上期実績		3月期 下期実績	3月期 下期予想		3月期 通期実績	3月期 通期予想	
売上高	22,590	22,365	△1.0%	28,958	30,634	+5.8%	51,548	53,000	+2.8%
営業利益	757	545	△28.0%	1,747	2,154	+23.3%	2,505	2,700	+7.7%
利益率	3.4%	2.4%	—	6.0%	7.0%	—	4.9%	5.1%	—
経常利益	828	620	△25.1%	1,849	2,179	+17.8%	2,678	2,800	+4.6%
利益率	3.7%	2.8%	—	6.4%	7.1%	—	5.2%	5.3%	—
純利益	451	352	△21.8%	982	1,347	+37.2%	1,433	1,700	+18.6%
利益率	2.0%	1.6%	—	3.4%	4.4%	—	2.8%	3.2%	—



# 当社経営方針について

代表取締役社長 社長執行役員  
齋藤 正記

1982年 三井物産(株)入社

---

2004年 (株)ビーエスアイ代表取締役社長

---

2008年 三井物産(株)情報産業本部 アウトソーシング事業部長

---

2009年 同社情報産業本部 ICTソリューション事業部長

---

2010年 同社欧州・中東・アフリカ本部CAO 兼 欧州三井物産(株)CAO

---

2011年 同社欧州・中東・アフリカ本部CAO & CCO & Regional CCO

---

2012年 三井情報株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 就任

---

## 課題

- ・事業伸長の遅れ、案件の減少
- ・既存顧客、既存ビジネスに安住
- ・強みを活かす商品・サービスが足りない
- ・攻めの姿勢を貫けない企業風土

## MKI は「何を指すか」「どうなりたいか」明確に再定義した上で

## 体質改造

- ・顧客の要望を先取りし、能動的に提案する力
- ・新しいビジネスを自ら創り出そうとする姿勢
- ・メリハリのきいた組織・人事・評価

## 成長戦略

- ・MKI ブランドの創出
- ・特長ある技術を活かした新たな商品・サービスの確立
- ・選択と集中による成長分野への資源の傾斜配分

## ビジネスの創出と顧客への新たな 価値提供に挑戦し続ける企業

# 株主還元に関する基本方針について

積極的な  
事業投資



業績向上と企業価値の増大を図る

株主還元



配当による利益還元を最優先として  
配当性向30%以上を堅持

認知度向上



積極的な情報発信を推進して  
MKI 認知度の向上を目指す

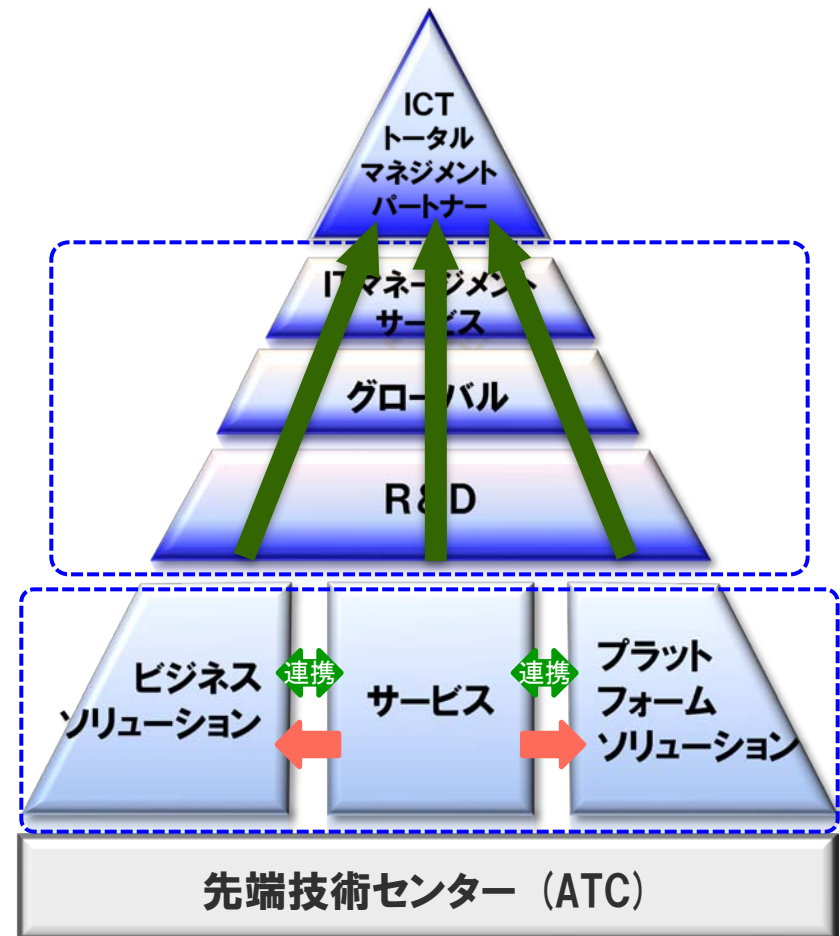
# 2013年3月期 経営施策の進捗と今後の方針

代表取締役社長 社長執行役員  
齋藤 正記

MKI バリューの向上

既存事業の強化

成長拡大に向けて



持続的成長に向けて事業競争力の強化を図る

## 新たな事業創出への取り組み

- ・高機能プラットフォームの活用によるビッグデータ解析技術の実用化
  - ⇒ゲノム解析・新薬開発の分野で取り組み開始
  - ⇒需要予測ソリューションの実用化推進
- ・特長ある技術資産を活用した新分野への挑戦

## グローバル展開の促進

### 市場変化に対応して、事業領域の拡大を目指す

- ・グローバルベンダーとのパートナー戦略強化
- ・三井物産の海外関係会社へのサービス展開
- ・環境マネジメントシステムのアジア展開
- ・日系企業の海外向けサービス提供



## BS事業本部

- ・注力ソリューション分野でのサービス提供力強化
- ・新規顧客獲得に向けたパートナー戦略の展開
- ・成功事例に基づいた注力顧客への浸透(通販・卸小売分野)

## PS事業本部

- ・市場開拓戦略に基づいた大口顧客との関係強化
- ・UC分野における提供ソリューションの拡大
- ・コンタクトセンターのアウトソーシングサービス展開

## SV事業本部

- ・省エネ関連ビジネスの拡大
- ・クラウドソリューションの販売促進(Google Apps、MDMソリューション等)
- ・データセンターの拡販に注力(他事業部門との連携)

## 部門間連携 の強化

組織横断的な案件への取り組みを推進して  
提案力、事業創造力を強化

## 新事業 の創出

タスクフォースを設置し、協業パートナーと新ビジネス  
の事業化に向けて集中的に取り組む

## 戦略部門と 事業の連携

各事業本部が戦略部門のリソース(R&D・グローバル・ITMS)を活用して、付加価値と新たな事業の創造  
を目指す

**次期中計のスタートに向けて、MKI の将来を  
支えるビジネスモデルの構築を急ぐ**

# 【ご参考】主な広報リリース(上期)

	発表日	内 容
1	2012年4月16日	<b>MKIが経済産業省エネルギー管理システム導入促進補助事業 BEMSアグリゲータとして採択</b>  MKIは、平成23年度「エネルギー管理システム(BEMS)導入促進事業」のBEMSアグリゲータとして採択されました。これを機会に、空調設備等をインターネット経由により自動制御することで無駄なエネルギー消費を抑制し、コスト削減を実現するクラウド型省エネルギーマネジメントサービス GeM2の提案を加速化して、お客様の省エネ化・節電の支援を行います。
2	2012年4月25日	<b>MKI、MobileIronによるMDMソリューションを提供</b>  MKIは、MDMの世界的なベンダーであるMobileIron, Inc.と販売代理店契約を締結しました。これにより、MKIは同社のMobileIronを活用したモバイルデバイス管理ソリューション「MDM(※1)ソリューション MobileIron」の提供を開始して、お客様のスマートデバイスを安全かつ容易に利用できる社内ネットワークを構築します。
3	2012年5月15日	<b>MKI、「ゲノム解析プラットフォーム」開発により医療IT分野へ進出</b>  MKIは、癌研究におけるゲノム解析と、創薬開発プロセスにおける化合物データ解析にビッグデータ分析を活用する実証実験に昨年より行った結果、ゲノム解析におけるプロセス簡素化・高速化へ向けた成果を得ることができました。この成果を受け、今後は癌細胞のゲノム解析に基づく「個別化治療」と「新薬開発」を可能にする解析システム『ゲノム解析プラットフォーム』の開発を、研究所や病院機関と共に実用化へ向けて研究を行ってまいります。

(※1)MDM(Mobile Device Management)とは、スマートフォンなどをビジネスの場で安全に使用するためのソリューションで、アプリケーションの制御やデータのバックアップ、紛失時の遠隔ロックやデータ消去といった機能が含まれます。

# 【ご参考】主な広報リリース(上期)



新たな成長を、あなたとともに。

	発表日	内 容
4	2012年6月7日	<b>MKI、エンタープライズ向けWi-Fiクラウドサービスを三井物産へ提案・導入</b>  MKIは、三井物産エレクトロニクス株式会社及びKDDI株式会社とともに、エンタープライズ向けWi-Fiクラウドについて三井物産株式会社へ共同提案し、同社の国内12拠点へ導入しました。今回提案したサービスは、三井物産の海外支店や国内外の関係会社への展開も視野に入れた、クラウド型によるアクセスポイント管理・認証基盤を利用したWi-Fiサービスとなっています。同サービスの提供にあたり協業したMKIとKDDIは、今後も経営のスピード化を目指す企業へ快適なインフラ環境を提案してまいります。
5	2012年7月31日	<b>MKI、中堅企業向け「人事評価ソリューション」を販売開始</b>  MKIは、Excel®ベースのシンプルな操作性により、人事評価業務をサポートする「人事評価ソリューション」を8月から販売開始します。昨今、人事制度を取り巻く環境は多様化かつ複雑化しており、合理的で戦略的な人材活用を行うために、ITを活用した低コストで効率的な人材マネジメントを行う必要性が高まっています。MKIでは、これまでの実績を活かし、この度中堅企業を対象とした「人事評価ソリューション」の販売を開始します。同ソリューションの活用により、人事担当者が行う全社員の評価管理業務、評価者が行う評価管理業務の負担軽減を実現します。
6	2012年9月26日	<b>MKI、スパコン「京」による創薬プロジェクトに参画</b>  MKIは、NPO法人バイオグリッドセンター関西や、京都大学などの大学・研究機関、製薬企業9社、及びITベンチャー企業との共同プロジェクトに参画して、次世代スーパーコンピューター(スパコン)「京」を活用した創薬研究に取り組むこととなりました。 当プロジェクトにおいては、「京」を用い約3000万個の化合物と約350種類のタンパク質のマッチングを行い、数億通りとなる組み合わせの中から医薬品候補となる化合物探索を実施します。

## IRに関するお問い合わせ先

三井情報株式会社  
経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室  
TEL: 03-6376-1008 / E-mail: ir@ml.mki.co.jp

- 本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であり、リスクや不確定な要因を含みます。
- 本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、また、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標です。
- 実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与える重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因があり得ます。
- 世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。
- 新たなリスクや不確定要因は随時生じる可能性があり、その発生や影響を予測することは不可能です。リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もあります。